

大分県訪日教育旅行ススメ



訪日教育旅行ガイドブック～大分県～




おんせん県おおいた

<https://www.visit-oita.jp/>
2023年3月現在の情報を掲載しています。
新型コロナウイルス等の影響により、内容が変更となる場合があります。

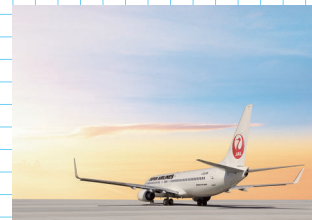
Welcome to Oita

大分へようこそ 大分県には、生徒の学びと成長を支援する全てがあります。
訪日教育旅行は、ぜひ大分県にお立ち寄りください。

「大分県」ってどこ？

Where is Oita Prefecture?

大分県は日本列島の西端の島「九州」の北東に位置します。
 長い海岸線と山々に囲まれた自然豊かな地域です。
 気候は温暖で四季がはっきりしています。夏は暑くて、冬は寒いです。
 日本の南に位置しますが山間部には雪も積もります。
 飛行機・電車・フェリーなど日本国内の主要都市からの
 アクセスも充実しています。



海と山に囲まれた大分県は、西に「九重連山」、南に「祖母山系」などの山々がそびえたち、海側には四国地方に接した「豊後水道」や、宮崎県へと続く「日豊海岸」のリアス式海岸が広がっています。温泉の湧出量・源泉数ともに日本一を誇り、温泉の入浴はもちろん、地熱発電や農業・漁業、食文化など、温泉の恵みを活かしたさまざまな産

業・文化に触れることができます。また、「耶馬溪」など自然の景勝地も多く、「阿蘇くじゅう国立公園」「国東半島峯道ロングトレイル」のほか、大分県内の各地域でトレッキングや自然散策を楽しめます。江戸時代の城下町や寺社仏閣など、歴史ある名所・旧跡も点在。大分の名水と四季折々の食材を使ったヘルシーな郷土料理も人気です。

Access

飛行機で東京(羽田)から約1時間30分、大阪(伊丹)から約1時間。鉄道・バスでは隣接する福岡県(博多)から約2時間。高速道路や鉄道網が整備され、大分県内の移動もスムーズです。

ともに学び、ともに体験して お互いの理解と友好を深めよう!

様々な体験を通して楽しく学ぶ教育旅行は、本やインターネットでは得られない感動と発見がたくさんあります。大分の美しい自然の中、みんなで一緒に過ごす時間は、いつまでも思い出に残る貴重な経験になることでしょう。

「大分県」が誇る3つの魅力

「日本人の心のふるさと」とも言える、古き良き日本の風景や生活文化が色濃く残る大分県。日本一の温泉をはじめ、自然環境から歴史・伝統文化、産業、農村の暮らしまで、バラエティ豊かな交流・体験プログラムが揃っています。

魅力1

学校交流



大分県では「国際人材の育成」の観点から、訪日教育旅行に伴う学校交流を積極的に受入れています。児童・生徒が直接外国人と接し、外国語や異文化に対する興味や関心を開く貴重な機会となっています。

魅力2

農泊体験



農村民泊を通じて、日本の一般的な農家の生活文化を体験します。生徒を本当の子供のように扱うお父さん、お母さんと過ごすことで、受け入れ家庭との心の交流をすることができます。

魅力3

体験学習



大分県の特徴でもある「温泉」の恵みを用いた、日本最大級の地熱発電所や、温泉蒸気による「地獄蒸し体験」。その他も楽しみながら体験学習を行うプログラムが人気です。

学校交流例

01

大分県立 由布 高等学校 の場合

学校交流日程例

所要時間6時間

学校到着

関係者全員でお出迎え

歓迎セレモニー

代表による挨拶

訪問団挨拶

学校概要・日程の説明

記念品交換

郷土芸能部による神楽公演

書道体験

日本食調理体験

日本食体験(ランチタイム)

英語の授業体験

茶道体験(日本文化の体験)

ホームステイ先の生徒と交流

ホストファミリーとの対面



「飛び出せ!世界へ!」僕らの中に宿る庄内神楽の魂。
伝統芸能での歓迎で盛り上がりは最高潮に!

台湾高雄市小港高中から生徒22名、先生3名をお迎えして交流が行われました。学校交流のオープニングは体育館から響き渡る郷土伝統芸能部の大きな神楽太鼓の音でスタート!お披露目された庄内神楽「貴見城」の熱気あふれるパフォーマンスに台湾の生徒たちもびっくりです。書道体験では生徒たちの好きな文字や心に響く文字をうちわに自由に書くチャレンジをしました。



書道が初体験で筆をもつのも初めての生徒もいましたが、書道部員と一緒にそれぞれのうちわを完成させました。昼食時には大分県の郷土料理の「だんご汁」と「石垣もち」でおもてなしをしました。一緒にテーブルを囲んで気持ちも和みます。英語に自信がない生徒も一生懸命コミュニケーションをとっていました。由布高校は県内で唯一観光コースが設置されている高校です。



観光コースの生徒たちの授業ではインターネットや自己紹介カードを使って英語で交流をしました。普段は出会うこともない海外からの学生たちとの交流で、きっと自分達の自信にも繋がったに違いありません。最後は日本の茶道体験をしました。茶室に移動して茶道部がたてた抹茶をいただきました。椅子の生活に慣れている台湾の生徒たちには、たたみの上の正座は苦しくて、痺れて足を伸ばす生徒たちが続出。それでも和菓子と抹茶の味は格別だったようです。



もっともっと
皆と一緒に過ごしたい♪

学校での交流を終えてからは農村民泊やホームステイ家庭に移動をします。一緒に買い物に行ったり、近くの温泉に出かけたり、ホームステイ体験は子供たちの距離を一気に縮めます。

郷土芸能部「神楽からKAGURAへ」炸裂!台湾公演

郷土芸能で国際交流。台湾の台中市と高雄市で庄内神楽「大蛇退治」^{かみやらい}、「神遂」の披露をしました。由布市庄内神楽は約150年の歴史を持つ伝統芸能です。生徒たちは子どもの頃から神楽の太鼓を聞いて育ちました。だから彼らの中には神楽の魂が宿っているのです。



学校交流例

02

大分県立 大分豊府 高等学校 の場合



みんな揃って英語で国際交流

インターネット回線を利用して海を越えて英語のオンライン授業をしていた学校と交流が実現しました。セレモニーでは互いの学校のペナント交換。そして、音楽室では吹奏楽の歓迎のセレモニー。季節は12月です。演目はクリスマスドレーに始まり、吹奏楽部のダンスを交えた演奏で盛り上がりは最高潮に！ランチは大分豊府高校の学食のチキン南蛮やうどん。大分の高校生の日常的なお昼休みを体験してもらいました。昼休みに続いて、この日は合同の英語授業でした。台湾の生徒の英語発音はとても良いですが、積極的な大分豊府高校も負けていません。



午後からは演劇部生徒との交流、書道教室での書道体験、美術の授業を一緒に受けました。大分豊府高校演劇部は日本一に輝いた実績のある部活です。その練習を一緒に体験。そして演劇部の演目を感激し、感情移入をした台湾の生徒さんが涙を流す場面もありました。書道体験は台湾故宮博物館の書法から引用した文字をかきました。また、美術の授業では日本古来の着物について学び、折り紙でそれを再現しました。どんな日が来ようとも、素晴らしい1日となるように努めようという学校スローガンの通りに素晴らしい日となった1日でした。



学校交流日程例

所要時間6時間

学校到着

関係者全員でお出迎え

▼ 歓迎セレモニー

校長による挨拶
訪日団長挨拶
生徒会長挨拶
ペナント交換

▼ 部活動紹介①(吹奏楽部)

▼ 昼休み

(昼食をとりながら懇親会)

▼ 合同授業(英語)

▼ 部活動紹介②(演劇部)

▼ 部活動紹介③(書道部)

授業体験(美術)

▼ 閉会式

学校交流例

03

大分県立 安心院 高等学校 の場合



地域ぐるみの和気あいあいとした交流

セレモニーでは中国からの訪問団の13歳の女の子が日本語の長いスピーチをして皆を驚かせました。歓迎プログラムの和太鼓演奏では近所の小学生も招待。地域ぐるみで交流しました。安心院高校の和太鼓部は数人の部員で形成されています。少人数であっても響き渡る太鼓の音は体の芯まで届くほどの迫力でした。圧巻の演奏のあとは、訪問団も笛や太鼓のバチを手にとって実際に太鼓をたたいてみました。はじめは戸惑いながらも、近所の小学生たちも混ざって和気あいあいとした交流となりました。茶道によるおもて

なしでは、外部から講師の先生をお呼びして本格的に行われました。大きな和傘を立てた会議室で抹茶と和菓子のおもてなしを楽しみました。中国で始まり発展したお茶の歴史。その栽培方法や茶葉の種類から淹れ方まで、お茶にまつわる細かい質問も飛び交いました。中国の子ども達が、抹茶を配る茶道部の生徒に椅子から立ち上がって一礼をする姿は微笑ましいものでした。また、この日はとても暑い日で抹茶を何杯もおかわりする生徒たちに大喜びの茶道部でした。

学校交流日程例

所要時間3時間

学校到着

関係者全員でお出迎え

▼ 歓迎セレモニー

校長による挨拶
訪日団長挨拶
学校概要・日程の説明
交流会記念品の交換

▼ 歓迎プログラム

和太鼓部演奏
和太鼓や笛の体験

▼ 生徒交流プログラム

茶道部による「おもてなし」

▼ お別れセレモニー

生徒挨拶(生徒会長)
訪日団生徒挨拶
記念撮影



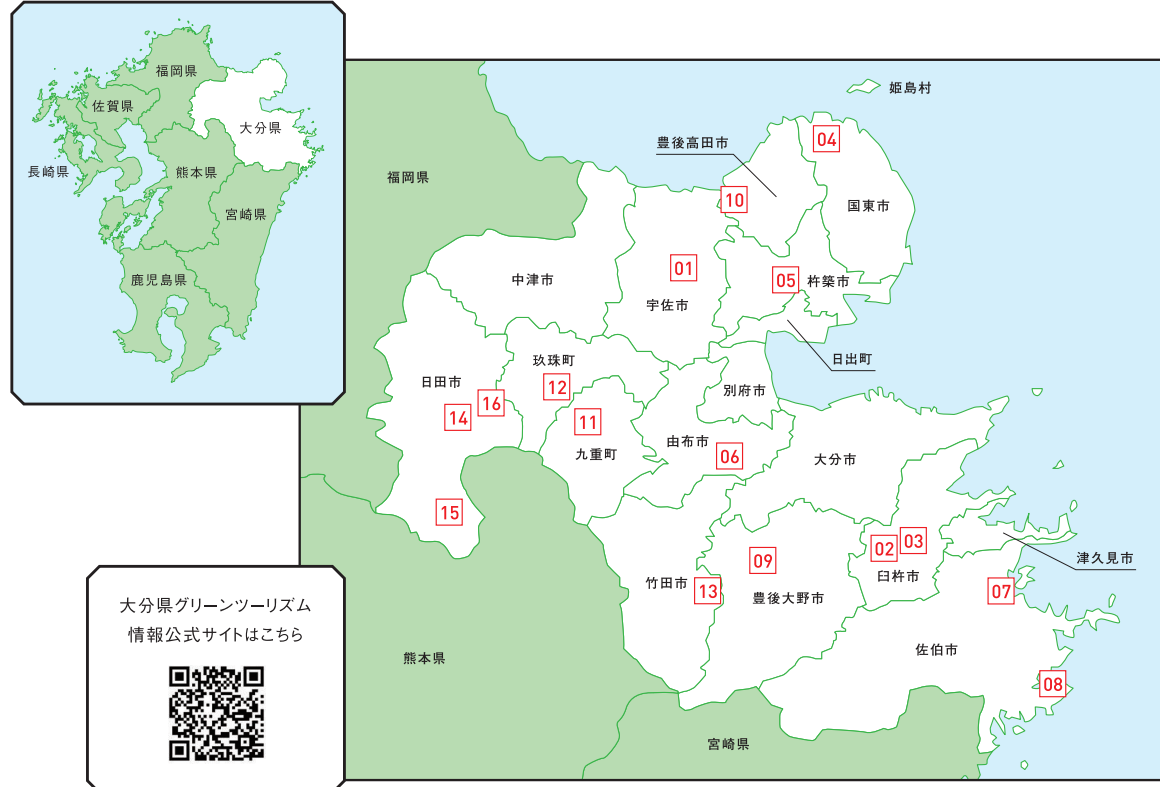
緑色旅遊

大分県内の農山漁村で、農業・漁業や田舎暮らしを体験できる「グリーンツーリズム」。村々のホストファミリーとの心温まる交流は、国内外の旅行者から人気を集めています。

日本のグリーンツーリズム発祥の地といわれる「安心院」エリアをはじめ、大分県内の各地域で盛んに行われているグリーンツーリズム。農山漁村の民家にホームステイをして、自然や生活文化、

村の人々とのコミュニケーションを楽しむことができます。現在、大分県内では16エリアのグリーンツーリズム研究会があり、畑仕事や郷土料理づくり、伝統工芸の製作など、それぞれの地域の特

色を生かした体験ができます。アットホームな農村民泊（農泊）のおもてなしも好評で、国内外からリピーターが多いのも特徴です。



大分県グリーンツーリズム
情報公式サイトはこちら

- | | | | |
|---|---|--|---|
| 01
NPO法人安心院町
グリーンツーリズム
研究会
AJIMU GREEN TOURISM | 02
吉四六さん村
グリーンツーリズム
研究会
KICCHOMU GREEN TOURISM | 03
臼杵市
グリーンツーリズム
研究会
USUKI GREEN TOURISM | 04
国東市観光協会
グリーンツーリズム
事業部
KUNISAKI GREEN TOURISM |
| 05
山香
グリーンツーリズム
研究会
YAMAGA GREEN TOURISM | 06
由布市
グリーンツーリズム
研究会
YUFU GREEN TOURISM | 07
さいき
グリーンツーリズム
研究会
SAIKI GREEN TOURISM | 08
NPO法人
かまえブルーツーリズム
研究会
KAMAE BLUE TOURISM |
| 09
グリーンツーリズム
豊後大野市農家民宿
研究会
GREEN TOURISM BUNGO-OONO | 10
豊後高田市
グリーンツーリズム
推進協議会
BUNGO-TAKADA GREEN TOURISM | 11
九重
「グリーン・ツーリズム」
研究会
KOKONOE GREEN TOURISM | 12
玖珠町
グリーンツーリズム
研究会
KUSU GREEN TOURISM |
| 13
来ちよくれ
竹田研究会
KICHOKURE TAKEDA | 14
小切畑
グリーン・ツーリズム
研究会
OGIRIHATA GREEN TOURISM | 15
津江の郷
ハートツーリズム
研究会
TUENOSATO HEART TOURISM | 16
天瀬
グリーンツーリズム
研究会
AMAGASE GREEN TOURISM |

農泊体験

「ただいま!」が自然になる、もうひとつの親戚の家。



農山漁村の民家に宿泊して、地元の人たちとのふれあいや日常的な暮らしを体験します。ホストファミリーは夫婦や家族で営むところが多く、まるで親戚のように温かく迎え入れてくれます。自分たちで収穫した野菜や、農家のお母さんが作った味噌や漬物、地元の魚介類など、季節ごとの家庭料理も人気です。

宿泊について / グループに分かれて、それぞれの受け入れ家庭に宿泊します。

他にもまだまだ、自然も人も笑顔になる、大分県。

大分の自然の恵みを満喫できる、楽しい体験プログラムが揃っています。



収穫体験



竹細工体験



郷土料理づくり体験



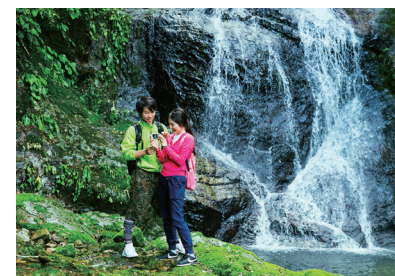
水汲み体験



稲刈り体験



漁村体験



自然散策



まち歩き



田炉裏体験

体験学習

大分では、自分の五感を生かして、楽しみながら学べる「体験学習」が充実しています。自然環境、活気あふれる町並み、伝統的な文化など、日本の魅力に触れてみましょう。

日本一の温泉を有する大分県では、温泉を活用した様々な取り組みを行っています。温泉の蒸気を利用した郷土料理の「地獄蒸し」や、膨大なエネルギー

ギーを利用した「地熱発電」もそのひとつです。また、江戸時代の城下町を着物で散策して地元の人とのふれあいも楽しめます。日本でも珍しい、香り

をテーマにした「大分香りの博物館」など、芸術・文化を体験できる施設も数多くあります。



温泉の噴気を利用した「地獄蒸し料理」は、鉄輪温泉で江戸時代から続く調理法です。



摂氏98度の熱々の蒸気は迫力満点。一日中、湯けむりが立ち上っています。



九州最古の木造建築物の国宝富貴寺大堂で蒲団座禅体験



地下岩盤の蒸気を利用した「八丁原地熱発電所」。次世代エネルギーとして注目されています。



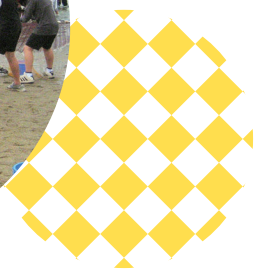
「香りの博物館」のギャラリーでは珍しい香水や香水瓶など膨大なコレクションを展示しています。



竹田市の伝統和菓子「三笠野」を自分で焼いて、焼きたてをお抹茶といただく体験



リアス式海岸の多い大分県下では、地引網体験が行えます！



九州最大の「九重スキー場」でスキー体験。スキー初心者も安心のゲレンデ



優雅な「着物」のレンタルも好評。豊富な色柄の中から自由に選べます。



杵築市など美しい城下町を着物で散策。写真撮影も良い思い出になります。

体験コース例 01 日本一のおんせん県おいたの魅力を巡る旅

Day 1 千年の歴史とロマンを訪ねる



大分県立歴史博物館



宇佐神宮



文殊仙寺
(護摩焚き体験)



恋叶ロード

農村民泊

Day 2 温泉を食べる、巡る



学校交流
(半日)



地獄蒸し体験



地獄めぐり
(海地獄・血の池地獄)



鉄輪温泉湯けむり散歩
(自由行動)

大分泊

Day 3 フェリーで大阪まで



安心院
アフリカンサファリ



塚原温泉
火口乃泉見学



鶴見岳ロープウェイ



フェリー

船内泊

Day 4 大阪観光



大阪市内観光
(全日)

大阪泊

Day 5 大阪観光



学校交流 (半日)



大阪市内観光

大阪泊

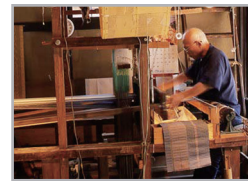
Day 6 帰国



関西国際空港 → 帰国

体験コース例 02 ローカルとグローバルが混じり合う旅

Day 1 旅は博多の守り神・櫛田神社から



博多町家 ふるさと館



櫛田神社



福岡市民防災センター



福岡OPEN TOP BUS

ホテル泊

Day 2 日田市を丸ごと満喫



小鹿田焼の郷



薫長酒造・酒蔵見学



日田豆田町散策



日田祇園山鉾会館

ホテル泊

Day 3 学校交流で異文化コミュニケーション



学校交流
(全日交流)



農村民泊

Day 4 大分の大自然に触れる



九重夢大吊橋



小松地獄



八丁原地熱地熱発電所
地熱学習



湯布院散策

ホテル泊

Day 5 学問の神様で参拝



大宰府天満宮



九州国立博物館


福岡泊

Day 6 帰国



福岡国際空港 → 帰国

体験コース例 03 日本固有の文化にふれあう旅

<p>Day 1 熊本の復興を考える</p>  <p>熊本城</p>  <p>上通り下通り (グループ行動)</p>  <p>八千代座</p>  <p>山鹿灯籠民芸館</p> <p>熊本泊</p>	<p>Day 2 水と緑。水郷川下りと三連水車</p>  <p>朝倉三連水車</p>  <p>柳川川下り</p>  <p>柳川城址 立花氏庭園</p>  <p>学校交流 (半日)</p> <p>農村民泊</p>
<p>Day 3 9万年前の噴火の大地</p>  <p>大分県立美術館 (ワークショップ)</p>  <p>原尻の滝</p>  <p>岡城址</p>  <p>和菓子作り体験</p> <p>キャンプ体験</p>	<p>Day 4 国宝と醤油のまちを歩く</p>  <p>学校交流 (半日)</p>  <p>白杵石仏</p>  <p>白杵まちあるき</p>  <p>フジジン工場見学 (醤油・味噌)</p> <p>農村民泊</p>
<p>Day 5 キャンパスや学食体験</p>  <p>明譽湯の里</p>  <p>立命館アジア太平洋大学APU</p>  <p>TOTOミュージアム</p>  <p>小倉城</p> <p>大阪泊</p>	<p>Day 6 帰国</p>  <p>福岡国際空港 → 帰国</p>

お問い合わせ

学校交流の申し込み方法

訪日教育旅行に伴う学校交流等(教職員視察を含む)を希望する場合は、原則として交流希望日の2ヶ月前までに、下記URLより「学校交流申込書」をダウンロードして頂き、日本語で必要事項を記入のうえ、メールにて担当者へ送付して下さい。
<https://www.visit-oita.jp/topics/detail/456>

問い合わせ先 / (公社) ツーリズムおおいた

E-mail / tourism@we-love-oita.or.jp

Tel / 097-536-6250

Fax / 097-536-6251

住所 / 〒870-0029

大分県大分市高砂町2番50号 OASISひろば21 3階

大分県観光誘致促進室

E-mail / a14190@pref.oita.jp

Tel / 097-505-2120

Fax / 097-505-1729

住所 / 〒870-8501

大分県大分市大手町3丁目1番1号

申し込みから交流当日までの流れ

- ・申込書に必要事項を記入のうえ、原則として学校交流希望日の2ヶ月前までにメールにて申し込みをしてください。
- ・コーディネーターが申込書の内容を確認し、目的、行程、宿泊地、訪問人数等を踏まえ、受入れ校とのマッチングを行います。
- ・受入れ校が決定次第、申込者にその旨を連絡します。また、当日の交流に係わる両校の希望等を調整するために、コーディネーターが申込者へ随時連絡をします。
- ・当日はコーディネーターが立ち会いますので、安心して受入れ校へ訪問してください。

注意事項

- ・受入れ校の円滑なマッチングを行うため、必ず日本語で「学校交流申込書」にて申し込みを行ってください。「学校交流申込書」の提出をもって正式申込といたします。
- ・日本の学校は、年度当初に年間の行事予定を組んでおり、学校交流の申し込みが交流日の直前となった場合は受入れをお断りせざるを得ない場合もありますので、早期の申し込みにご協力ください。
- ・訪日教育旅行団の人数が100名以上となる場合は、受入れ校の施設等の都合から受入れが困難となる場合がありますので、まずはお早めにお問い合わせください。
- ・受入れ校の円滑なマッチングのため、学校交流を行う地域での宿泊及び観光地見学にご配慮願います。
- ・受入れ校決定後のキャンセルは、今後の円滑なマッチングに支障をおよぼします。訪日校または取扱旅行社の自己都合によるキャンセル、また、1ヶ月を切った時点でのキャンセルがあった場合は、一定期間申し込みをお受けできないこともありますので、予めご了承ください。
- ・姉妹校との交流につきましては、各学校へ直接ご連絡下さい。

お願い(学校交流の受入れ時期について)

長期休業中や学校行事の多い時期、入試期間中は学校交流の受入れが困難な場合があります。これらの時期に学校交流を希望する場合は、必ず2ヵ月前までにご連絡ください。

長期休業(年度によって異なります)

・夏休み / 7月20日～8月31日 ・冬休み / 12月25日～1月7日 ・春休み / 3月25日～4月7日

その他、受入れ困難な時期

・定期試験 / 5月、7月、10月、12月(それぞれ1週間ほど) ・高校試験・卒業式 / 2月～3月

※この他、学期始めの時期、体育祭や文化祭などの学校行事の際も受入れが困難です。